

3.3 公共交通の利用実態（郵送アンケートより）

(1) 公共交通の利用実態

- 「公共交通をほとんど利用しない」の割合が高い（全体の75.0%）
→アンケート結果では「公共交通をほとんど利用しない」の割合が75.0%であった。一方、週に1～2回以上の利用者は6.6%と少数であった。
- 10歳代および高齢者の公共交通の利用割合が高い（10歳代は週に5回以上が12.1%）
→10歳代においては、公共交通を週に5回以上利用するが12.1%存在しており、通学等を目的として最も利用する年齢層である。また、高齢者は利用頻度は多くないが、週に1～2回などの利用が多い。
- 岩代、東和地域の公共交通利用の割合が高い。
→地域別では、二本松地域、安達地域に比べ、岩代、東和地域の公共交通利用の割合が高い。特に石井地区、新殿地区、旭地区、上太田地区、針道地区、太田地区、戸沢地区の利用割合が高い。

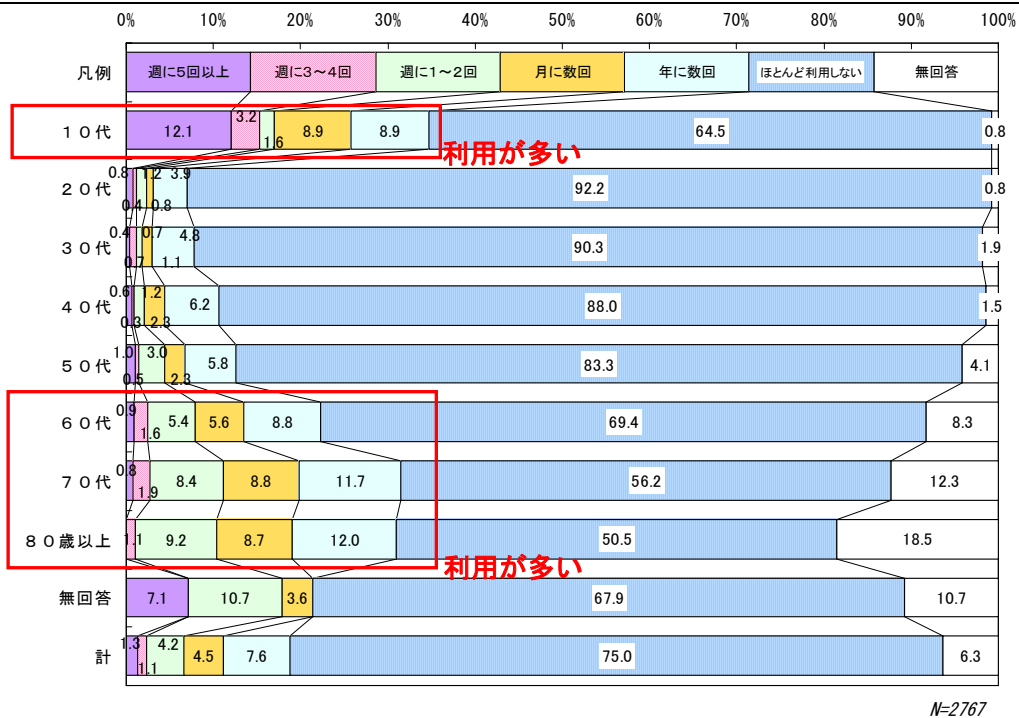


図 3-1 公共交通の利用実態（年齢層別）

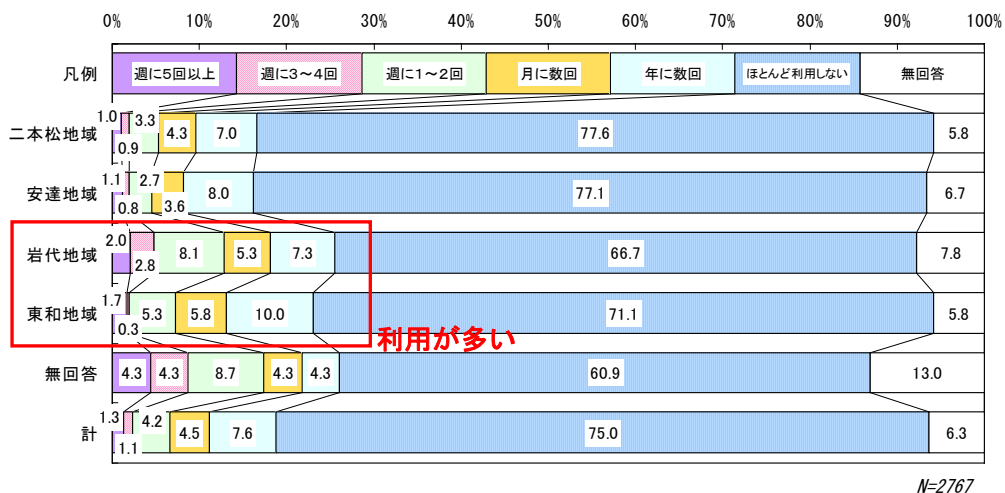
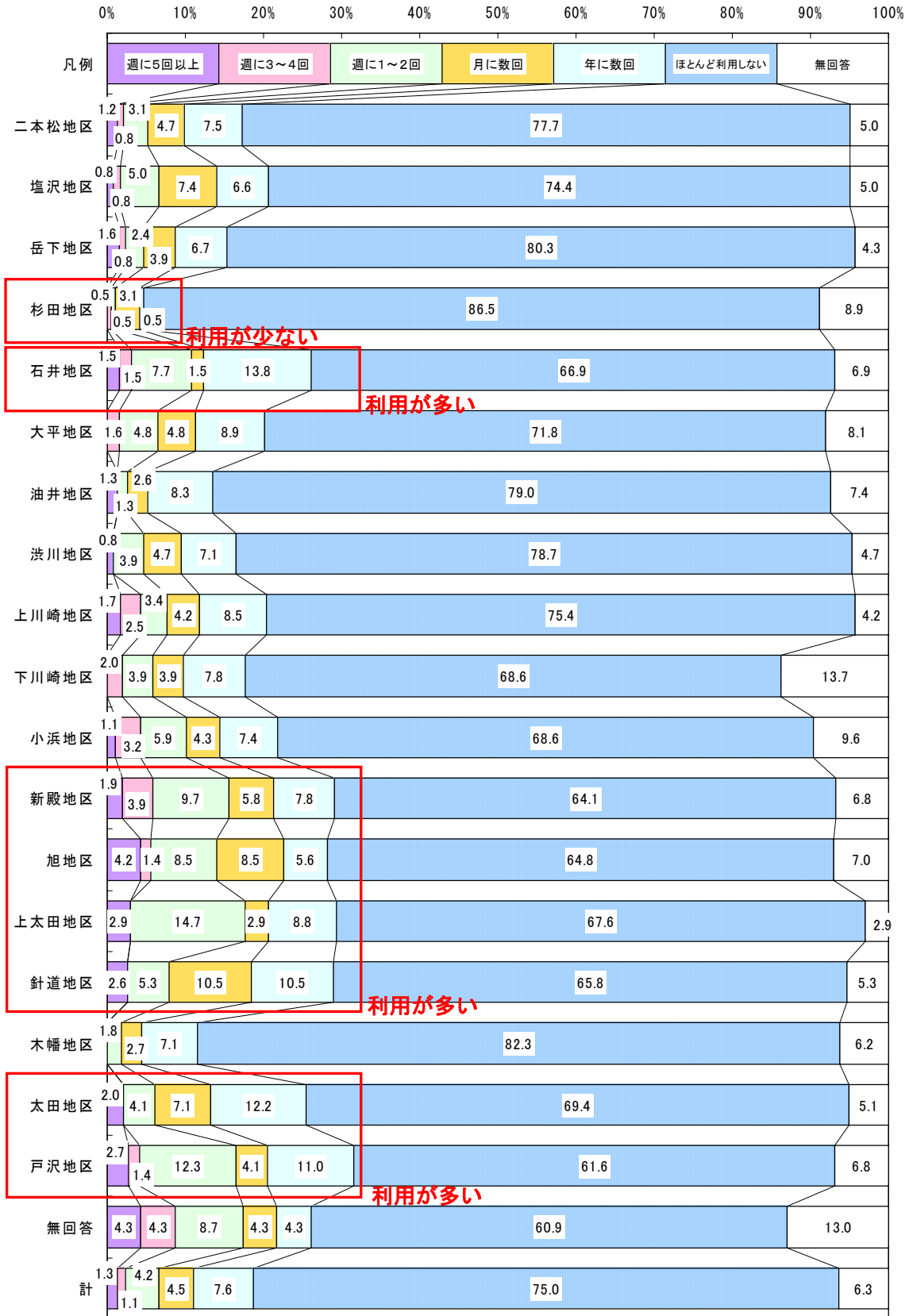


図 3-2 公共交通の利用実態（地域別）



N=2767

図 3-3 公共交通の利用実態（地区別）

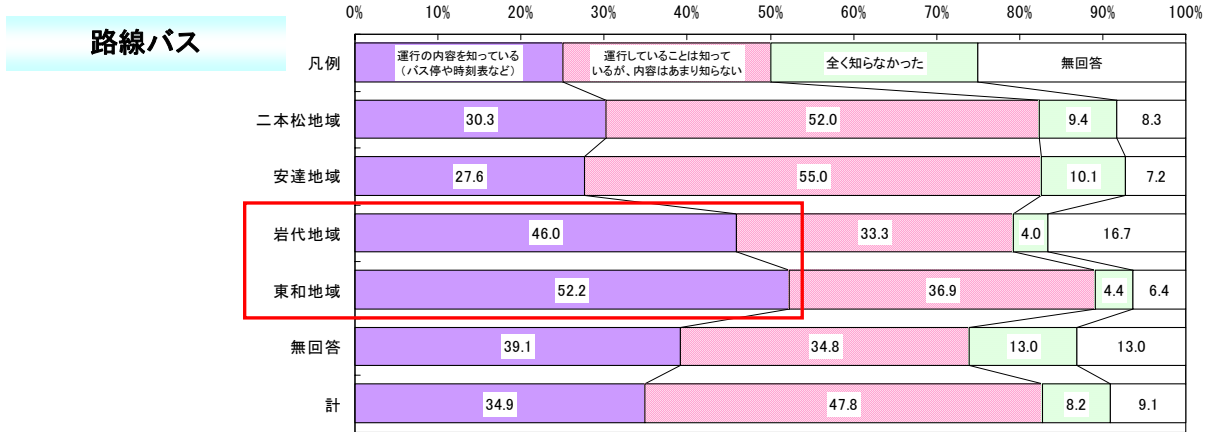
(2) 公共交通の認知度

●路線バスは利用割合の高い岩代、東和地域において認知度が高い

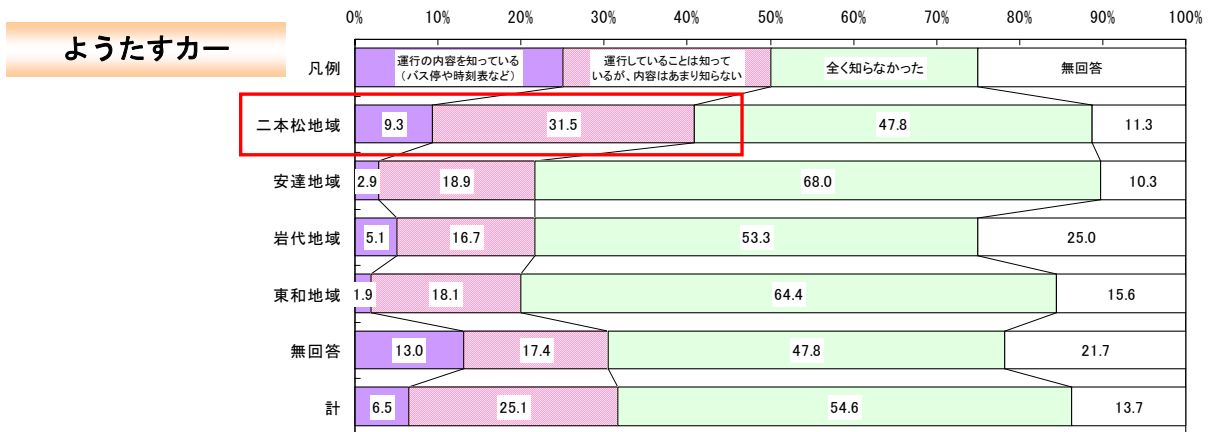
→全体では「運行していることは知っているが内容はあまり知らない」の割合が47.8%と最も高い。ただし、岩代、東和地域においては「運行の内容を良く知っている」が5割程度と高い。

●ようたすカー、ひょうたん号は運行していない地域の認知度が低い

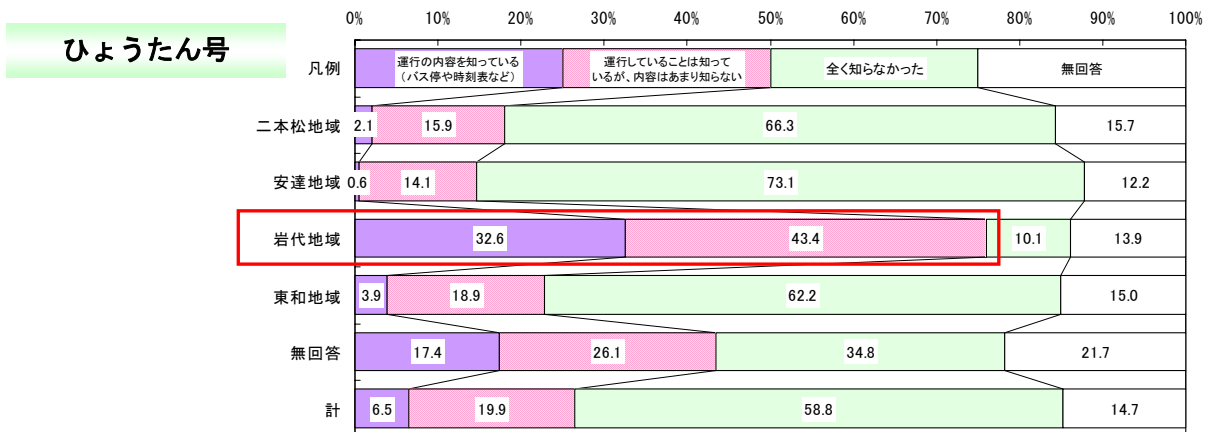
→ようたすカー、ひょうたん号は運行地域に限られ、非運行地域での認知度は低い。ただ、非運行地域においても2割程度は「運行していることは知っている」との回答であった。



N=2767



N=2767



N=2767

図 3-4 公共交通の認知度 (地域別)

(3) 公共交通をあまり利用しない理由

●「自分で車（マイカー）を運転して移動するから」の割合が高い（68.8%）

→公共交通をあまり利用しない理由としては、「自分で車（マイカー）を運転して移動するから」の割合が最も高い。また、「別の人が運転する自動車（送迎や同乗）で移動するから」も14.0%あり、自動車での移動が最も大きな要因であることが示された。

●利用したい時間に運行していない、バス停が遠いとの理由も多い。

→利用したい時間に運行していない、バス停が遠いからなど、バスのサービス水準が満足でないことから利用しないという意見も1割程度あった。

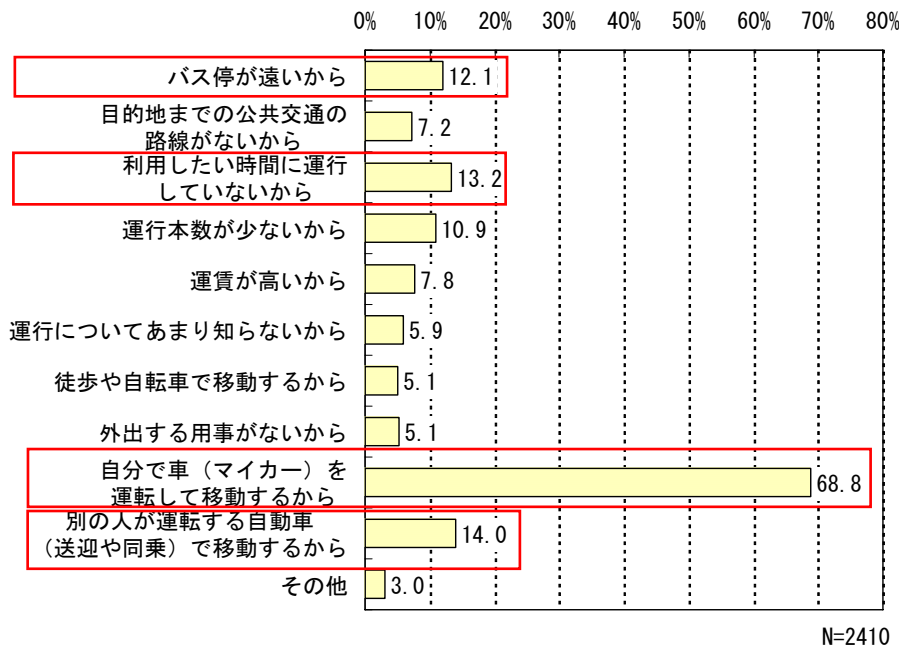


図 3-5 公共交通をあまり利用しない理由

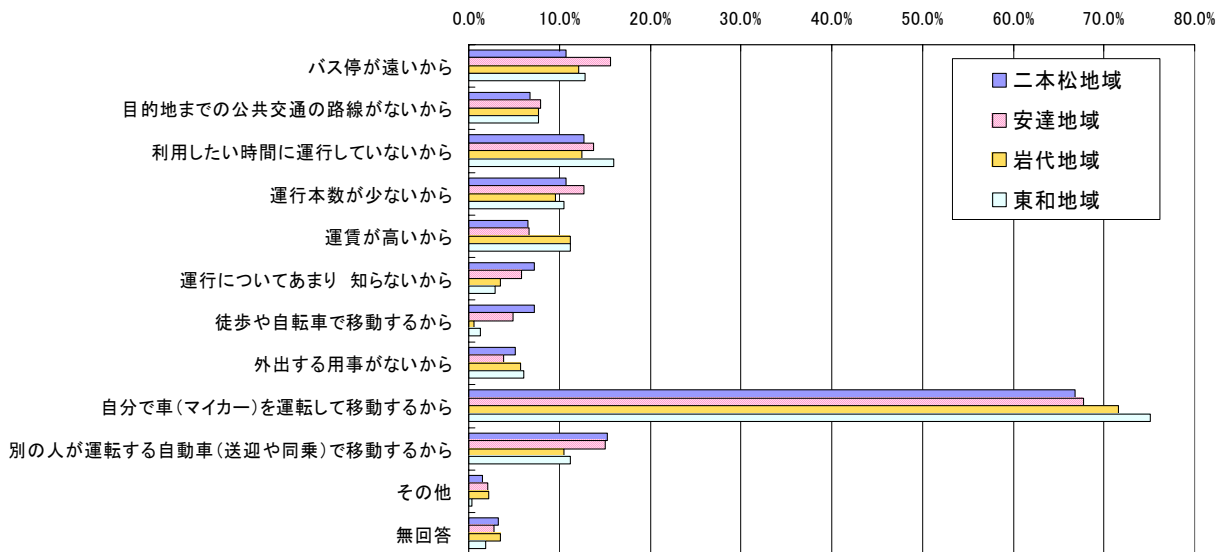


図 3-6 公共交通をあまり利用しない理由（地域別）